

令和7年度に向けた養豚政策に関する提案（要請）

令和6年8月27日
一般社団法人日本養豚協会（JPPA）
会長 香川 雅彦



日頃より我が国農業の振興にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

飼料その他経費の高騰など、食料の安定供給をめぐる国内外の情勢が大きく変化する中、国会においては新しい食料・農業・農村基本法を成立していただきました。新基本法では、食料安全保障の確保のほか、伝染性疾病の発生・まん延予防や、農業資材の生産及び流通の確保と経営の安定など、生産現場の努力を後押しする各種施策を新たに追加・明示いただき、誠にありがとうございました。

新基本法の下で、国民の皆様に美味しく安全な豚肉をお届けできるよう、養豚農業の安定的な発展に特段のご配慮をもってご支援いただきたく、以下のとおり提案申し上げます。

記

1. 新しい食料・農業・農村基本法の下での養豚農業の振興

- (1) 新しい基本法の下で持続的・安定的に豚肉を国民に供給するため、農場生産やと畜、物流等に要する費用が考慮された、再生産が可能な水準の価格形成が実現されるよう、制度の早期実現をはかること。
- (2) 養豚農家戸数が引き続き減少を続ける中、中小農家を含め、生産性向上や付加価値向上による経営改善に取り組む生産者への支援を新たに強化すること。
- (3) 飼料自給率の向上と循環型社会の構築のため、飼料米や子実トウモロコシ、食品廃棄物など国内由来飼料原料の低コスト安定供給への十分な支援を継続すること。

2. 豚熱等衛生・疾病対策の強化

- (1) 飼養衛生管理とワクチンによる豚熱対策に対し引き続き支援いただくとともに、養豚経営と豚肉需給の安定に向け、現在行われている豚熱対策の点検と見直しを行うこと。また、イノシシの徹底的な駆除を進めること。
- (2) アフリカ豚熱の国内侵入を決して許さないよう、海外での取組みも参考に、水際対策を一層強化すること。
- (3) 豚熱等以外にも養豚経営に大きな影響を与える各種疾病に対抗できるよう、有効かつ低価格なワクチンの実用化など、疾病の発生及びまん延防止のための対策を実現すること。

3. 生産費用高騰に対するセーフティネット

飼料その他の費用が高止まりの様相を示す中、配合飼料価格安定基金制度の長期の視点に渡った安定的な運用のほか、肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）等の機動的な発動、地域間格差の是正等により、万全なセーフティネットを講じること。

4. 循環型社会や低環境負荷社会を実現する畜産環境対策

家畜堆肥等の有効利用を促進するため、農家のマッチングなど耕畜連携による資源循環促進への取り組みを強化すること。また、排水基準などの環境規制が強まる中で、低コストで有効な肥料利用、汚水処理、臭気対策等の研究開発と、現場への実装に対する支援を強化すること。

5. 国内のと畜場や飼料工場の老朽化が進んでおり、安全な畜産物の安定供給のため、施設整備を支援すること。